

兵士はどこへ行ったのかー西南戦争から十五年戦争へ

鳥塚 義和

はじめに

徴兵制 150 年 1873 年ー (72 年) ー1945 年ー (78 年) ー2023 年
 父母の戦争体験、世代と体験の継承

1. 地域史料の魅力 南龍寺太子堂の絵馬

2. 西南戦争

政府軍 6 万 6 千人 vs. 薩摩軍 5 ～ 6 万人
 戦死者 6843 人 6784 人
 + コレラ病死 516 人以上

②落合熊吉（柏市泉）の墓碑
 長崎佐古招魂社

①西南戦争の従軍者、戦没者数 *『郡誌』従軍者 11 人

市町域	従軍者	戦没者			負傷者
		戦死	病死	計	
松戸	3	0	0	0	1
流山	7	3	1	4	1
柏	9	2	0	2	1
沼南	4	2	1	3	0
我孫子	6	1	0	1	4
野田	19	4	4	8	3
関宿	9	3	2	5	2
合計	57	15	8	23	12

(裏) 千葉縣第十四大区一小區泉村平民
 (左) 崎縣肥前國長崎病院ニ於テ死
 (右) 明治十年四月五日於熊本縣下肥後
 (正面) 陸軍兵卒落合熊吉之墓
 東京鎮台歩兵第二聯隊第三大隊第一中隊

③凱旋兵を襲ったコレラ (『大坂陸軍病院報告摘要』より)

a. (9 月 30 日) 神戸ニ着スル船中該症ヲ伝染シ五十余名最モ危篤ナリ。該地出張検疫医官奥村軍医副加藤軍医補等検疫規則ニ拠リ上陸ヲ禁シ、細ニ避病ノ方法ヲ処セントスレトモ、乗勝ノ軍人豈能ク医官ノ教ヲ聞キ、衛生ノ法ヲ遵守スル者少ナク、却テ医官ヲ罵嘲シ、喧嘩先ヲ争テ上陸ス。為メニ猛毒立地ニ暴発シ、船上埠頭ニ僵ル者幾百人。嘔吐喘呻吟ノ声汀上ニ満チ、市人ハ病毒ヲ恐懼シ遁レテ敢テ近ツカス。

b. (10 月 3 日) 東京鎮台歩兵第二連隊西京ヲ発シテ大津ニ入ル。路上発病スル者数十人。市街ノ旅店急ニ戸ヲ鎖シ入ヲ容サス。兵卒怒リ戒器ヲ取テ嚇威ス。警吏亦制スル克ハス。遂ニ此ニ投宿ス。発病スル者陸續休マス。県庁人ヲシテ靈山避病院ニ送り、急ヲ報ス。土人震悚シテ就役スル者ナシ。兵卒巡查共ニ發奮病者ヲ負抱シテ病院ニ送致ス。

④須賀本次郎（野田市域出身）の墓碑

大阪真田山陸軍墓地

野田市東高野の墓→

3. 日清戦争

*戦った相手は？ 4 つの複合戦争 (原田敬一)

*日本軍従軍者

将兵約 25 万人、戦没者 1 万 2 千人
 軍夫約 15 万人、戦没者 7 千人

東京鎮臺兵卒須賀本次郎
 行年二十三歳
 明治十年西南之役従軍神戸ニ而病死遺記

①日清戦争の従軍者、戦没者数 *『郡誌』従軍者 105 人

市町域	従軍者	戦没者				廃兵
		戦死	病死	不明	計	
松戸	4 2	1	5	1	7	1
流山	2 7	0	2	0	2	0
柏	6 7	1	2	0	3	0
沼南	2 2	0	6	0	6	1
我孫子	2 5	0	4	0	4	0
野田	1 1 1	0	5	3	8	0
関宿	4 9	0	1	0	1	0
合計	3 4 3	2	2 5	4	3 1 *	2

*14 人が台湾で死亡

③戦争碑

・集合碑（7 基）

千代田村尋常小学校（柏一小）「報就碑」（14 人）

福田村三ツ堀香取神社 「征清軍記念碑」（13 人）

・個人碑（20 基） 風早村大井「石原初太郎之墓」（脚気）
湖北村古戸「深山豊吉君之碑」（凍傷）

4. 日露戦争

日本軍 vs. ロシア軍

1 0 9 万人 1 3 7 万人以上

戦没者 8 万 4 千人 7 万 3 千人

戦死 6 万人 5 万 3 千人

病死 2 万 1 千人 2 万人

②鈴木初五郎（明村上本郷）

・『日露戦争日記』

・手紙 発 24 通、宛 128 通

計 152 通

（所蔵：鳥塚 98 通、鎌ヶ谷市立郷土資料館 54 通）

①日露戦争の従軍者、戦没者数 *『郡誌』従軍者 1475 人

市町域	従軍者	戦没者				廃兵
		戦死	病死	事故	計	
松戸	4 3 3	2 3	1 0	1	3 4	1 3
流山	2 3 1	1 4	9		2 3	4
柏	2 9 2	2 2	6		2 8	0
沼南	1 1 5	5	6		1 1	0
我孫子	1 3 9	1 3	1		1 4	8
野田	6 0 9	2 9	1 3		4 2	9
関宿	2 1 8	1 3	3		1 6	4
合計	2 0 3 7	1 1 9	4 8	1	1 6 8	3 8

③鈴木ふみ（妻） 1904 年 11 月 28 日付（父染谷紋五郎の封筒の中）

夫初五郎様え	妻 ふみより	ふみより
		貴下様が御かいりを 待居りますから 何卒御身を大切に 致し被下度候 又私としても諸神社 に心願をかけ 朝夕をこたりなく 貴下様の生命長久 して一日も早く 御帰りなるように 心神して居ります から何卒御前様 も戦地にいても 当村鎮守様伴に成田 不動尊を心神 被下たし あくまでも私の心わ 変りませんから 御心配なく身体を 大切に御帰を まつて居ります

④護符「サムハラ」

⑤染谷松治郎（妻の叔父？） 1905 年 11 月 5 日付

けれども錢は稼げばデキますカラネー。寿わ錢で買ひません。出征をして名誉の戦死を致しました人には誠に氣之毒ですネー。小生も義弟を一名戦死サレマシタガ、其の時にわ驚きました。残念でたまりません。只今でわ「アキラメ」ました。小生の弟一人でわなし、諸氏の戦死者で有りますから。「アキラメラレヌト」「アキラメマシタ」ハハ……。其に引換ひ過日は、十月廿一日東京湾で観艦式ヲ執行致しました。其の賑ぎやかなることわ言に尽せません。神奈川横スカヨリ品川辺までの人員ハ凡そ五十万人の見物人ト承り候。

②軍夫の個人碑 小川岩次郎

（柏市岩井、龍光院）

小川岩次郎碑
小川岩次郎者手賀村岩井人農八兵衛二男也明治廿七年日清交干戈之際我陸軍省募軍夫岩次郎奮心其募為軍夫属第二軍兵站部渡朝鮮進入清国我軍每戰必勝廿八年五月凱旋岩次郎一旦帰国居未幾会我新領土台湾土匪蜂起陸軍出帥討之於是岩次郎將出為軍夫被編獨立野戦電信隊六月十一日上途直渡彼地櫛風沐雨具嘗難苦而服役半途偶罹疾九月十二日於基隆野戦兵站病院為不帰人享年廿有一岩次郎夙失父而母独在家形影相弔官恤其遺嫗賜扶助料金五拾円及弔祭料拾円且以特旨更賜金一百廿円母拜皇恩之忝感泣不知惜云岩次郎資性粗豪父母曾苦其暴然今日有此死而聊償其罪矣嗚呼匹夫不可奮志也者真此之謂也乎
明治二十一年二月

⑥戦争碑

- ・集合碑 49 基、献額 8、灯籠、狛犬 2…元の藩政村単位で記念・慰労、行政村単位で顕彰
- ・戦没者個人碑・墓…戦没者 168 人のうち 141 人は個人墓・碑が建てられたことが確認できる。
日暮太之助（染谷松治郎の妹の夫）

⑦「桜のある風景」、在郷軍人会

5. 徴兵忌避

①千葉県の上存在不明者数と対受検者数比（徴兵適齢年別）



1873～1945 年の 72 年間で確認できた人数 4 4 2 1 人（年平均 6 1 人） ピークは？

②『千葉毎日新聞』（1904 年 3 月 1 日）の報道

（前略）去る二十三日時間不詳同人所有に係る居宅を距る五十間の栗林に於て縄を以て縊死を遂げ居るを翌二十四日の午前六時頃に至りて初めて家人が発見し驚ろき野田分署に届出でたれば係官早速出張して検視の上死体は実父に引渡したるが原因は此奴今年徴兵適齢なるより若しや合格して戦役に出づる様の事もあらばと不忠にも不義にも卑怯にも腰抜けにも腑抜けにも大馬鹿にもそれを苦にして家人の隙を覗ひ前記の始末に及びしものなりと黒髪を截つて我が軍の全捷を祈る婦女子まである今日憎みても / \ 尚ほ余りある白徒なれ、想ふにこれ魯西亜動物の血統かも知れず

6. 第一次世界大戦とシベリア出兵（戦争）

	第一次世界大戦（対独戦争）		シベリア出兵	
市町域	従軍者数	戦没者数	従軍者数	戦没者数
松戸	2 7		1 2	2
流山	2 6		2	
柏	1 7		5	3
沼南	1 5		3	1
我孫子	1 1	1	6	2
野田	3 5		2 2	1
関宿	8			
計	1 3 9	1	5 0	* 9

* 流行性感冒
6 人死亡

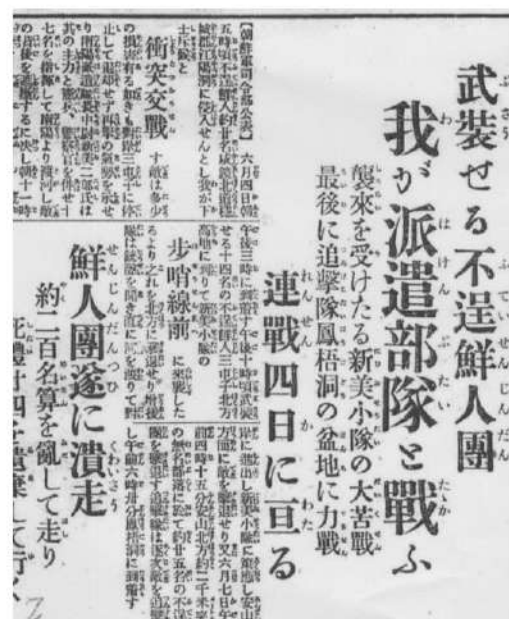
7. 朝鮮植民地戦争—福田村事件の背景

愼蒼宇『朝鮮植民地戦争』（有志舎、2024 年）

①義兵闘争（1907～1911 年）の戦没者

義兵 1 万 7 7 7 9 人、日本側（軍・憲兵・警察）136 人

②「満洲」の間島への出兵（1920 年）と新聞報道



（『読売新聞』1920 年 6 月 11 日）

③現地の記念碑

④戦死者堀井茂邦

慰霊祭（1920年）と除幕式（1922年）

⑤在郷軍人分会

・忠魂碑の建立

東葛北部25町村のうち18町村が建てた
明村（現存せず）、高木村（戦後撤去、再建）

・会員の構成

	福田村	田中村
日清従軍者	24人+軍夫3人	19人 (うち戦没1人)
日露従軍者	103人 (うち戦没5人)	85人 (うち戦没10人)
分会員*	127人	100余人

*『房総 町村と人物』多田屋、1918年

8. 十五年戦争

戦没者 軍人・軍属 230万人
一般市民 80万人
計 310万人

*国立社会保障・人口問題研究所の新説

376万人

*なぜ正確な統計がないのか？

⑤堀井茂邦之碑

(表)

故陸軍歩兵一等卒 堀井茂邦之碑

大正十一年三月二十日 陸軍少将 古賀啓太郎書

(裏)

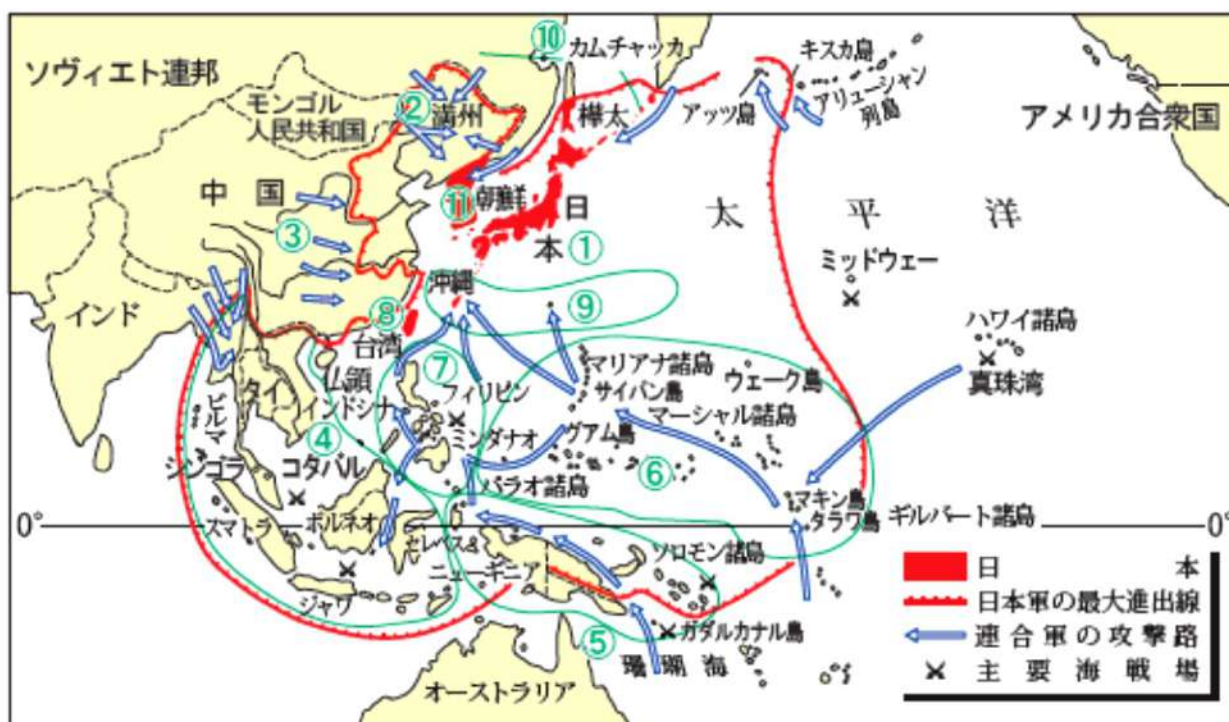
堀井茂邦君千葉縣東葛飾郡田中村船戸之人也大正八年十二月徵入營
歩兵第五十七聯隊九年四月編入第十九師團歩兵第七十三聯隊同年五
月三十一日本營聞不逞鮮人有不逞之舉使渡邊中尉以下五十名派遣圖
們江岸潼關鎮應援國境守備隊君在此選中爾後轉戰下灘洞安山等能勤
勞任務六月七日屬安川少佐襲擊賊之巢窟鳳梧洞斬獲頻多方轉進穩城
敗殘之敵猶據險要之地包圍我軍我軍苦戰殆三時間君挺身薄敵健闘敵
不能支焉將潰走會流丸洞貫君左下腹身負重創手猶不釋銃從容瞑矣于
時午後三時五十分也享年二十有二即日進級一等卒可謂異數也詩云起
々武夫公侯干城茂邦君之謂歟

大正十一年三月

前東葛飾郡會議長

松丸 健撰

豊田林藏建之
堀井きい



①日本 ②満州・モンゴル ③中国 ④英領インド・タイ・仏領インドシナ・英領マレー・蘭領ジャバスマトラ ⑤ニューギニア（ソロモン・ビスマルク・マルク諸島含む） ⑥中部太平洋 ⑦フィリピン ⑧台湾（バシー海峡含む） ⑨硫黄島・小笠原・沖縄 ⑩千島・ソ連 ⑪朝鮮

①十五年戦争における旧沼南町域の年次別地域別戦没者数

戦没地 年月	①日本	②満州・ モンゴル	③北支	中国 中支	南支	④ビルマ・ マレー・ インドネシア	⑤ニューギニア	⑥中部太平洋	⑦フィリピン	⑧台湾・ バシー海峡	⑨硫黄島	⑩沖縄	⑪千島・ソ連	⑫朝鮮	その他	地域不明	合計
1931～36	1	1															2
37			1	2													3
38																	0
39	2	2	2	1													7
40	1			2													3
41		1	1	1												1	4
42	1	1	2	2		1	2										9
43.1～4			3	1			2	1									7
5～8				1			1								1		3
9～12	1	1	1				1	2							1		7
44.1～4	2		1			1	4	3	1						1		13
5～8	1	1	3	3		1	2	13	8	2	2				4	2	42
9～12	2		2	8		1	2	3	15	2					2	1	38
45.1～4	4			1		4	9	1	20	1	7	4			4	1	56
5～8	2	4	4	1	1	3	2		18		6	1			2	2	46
9～12	2	2	1	3		2			1	1							12
46		1		3		1	1						4	1			11
47～	3			1									1				5
年次不明																2	2
合計	22	14	21	30	1	14	2	37	18	57	6	7	10	6	1	15	270

出典：『遺芳録 沼南町役場』『戦没者名簿 手賀村役場』、墓碑等現地調査などにより作成

②墓碑から

・手賀村の兄弟の墓

兄…昭和十三年一月十日東京世田ヶ谷砲兵隊ニ二十才ニテ入隊 北支派遣甲第一八二〇部隊所属終戦ト同時ニ戦死ノ公報ニテ葬式ヲ済マセルガ廿八年生存判明セリ 卅一年九月病体ニテ帰国後国立下志津病院ニテ療養後昭和卅四年十二月六日死亡セリ 行年四十一才

弟…昭和十九年九月廿三才 九州門司集合ニテ北支派遣自動車第卅四連隊第三中隊ニ所属 各種輸送業務ニ従事セルガ終戦後帰国途中病氣ニヲカサレ長沙北方第一四八野戦病院ニ入院ス 昭和二十年十一月四日午前三時三十分死亡 行年廿四才

・昭和一九年九月二十六日 日立製作所柏工場ニ徴用中病死 行年二十三才

(この女性の兄二人は出征中であつたが、1945年に沖縄県宮古島とニューギニアで戦死した)

③体験記から

・風早村塚崎にいた渡来タケ（東葛市民生協『戦時下のひとびと』1995年）

当時一九歳の私は姉弟四人の長女、父親は昭和一六年に倒れ半身不自由な人でした。母親と二人で田畑を一町八反やっていました。食糧増産のため、今みたいに肥料がないので、落ち葉や草を刈り堆肥を作り増産に一生懸命でした。男手がないので何でもやりました。米俵しぼり、田んぼのあぜつけ、牛を引いて堆肥を運んだり、本当に大変でした。一家の柱石だった兄は海軍で出征され、昭和一九年にマーシャル群島で玉砕しました。残された妹弟をみながら勝つためと一生懸命働きました。空襲があるたび、父や妹弟を防空壕に入れ、私は一人で外で見張っていました。そして月に何回か勤労奉仕もありました。そして藤ヶ谷飛行場の奉仕に何回も行きました。(略)土を運ぶのも三人ずつリヤカーで運びました。そして韓国の人達も大勢仕事をやっていました。

④東葛北部の戦没者数

市域	戦没者数	典拠
松戸	1 0 5 2 人	『松戸市史下巻(二)』(1968年)。1952年現在で小金町を除く
流山	3 8 8	『流山市戦没者名簿』(1960年)。『におどり』第6号に転載(1987年)
柏	1 0 0 0	忠霊の塔(鈴木道彦「柏市の慰霊碑調査奮闘記」)
我孫子	4 8 7	『我孫子市史 近現代篇』(2004年)
野田	1 5 0 7	野田市戦没者慰霊塔銘板。旧野田市 1180人＋旧関宿町 327(＋野田町 22?)
計	4 4 3 4	